第26回全国キリスト教学校人権教育セミナー

テーマ　「子どものいのちと人権」　（恵泉女学園大学にて　8月18日、19日）

主催：全国キリスト教学校人権教育研究協議会 http://zenkiri.junyx.net

8月17日（月）　≪フィールドワーク≫のご案内

|  |
| --- |
| Aコース　戦争と平和を考える（定員45人） |
| 「原爆の図　丸木美術館」見学　＆　相模湖ダム歴史現場研修  **◇特別展示「発掘！知られざる原爆の図」をお見逃しなく！**  原爆投下直後に広島へ入り、その惨禍を30年以上にわたって描き続けた画家・丸木位里（1901～1995）、丸木俊（1912～2000）。連作のうち第1部から14部は原爆の図丸木美術館に、第15部は長崎原爆資料館に常設展示されています。しかし、丸木夫妻はこの15部連作以外にも、「番外」とも言うべき「原爆の図」を各地に残しました。2015年夏、アメリカなどに６点を貸し出している間、各地で保管されている貴重な「原爆の図」の９点が公開されます。以下がその詳細です。   1. 長崎原爆の図二部作　三菱兵器工場・浦上天主堂　1954 2. ビルマ戦没者慰霊のために建てられた高野山成福院所蔵二部作　火・水 1959 3. 東京葛飾区勝養寺所蔵四部作　幽霊・火・水・夜　1982 4. 大阪人権資料館所蔵　被爆後の差別問題を描いた作品　高張提灯　1986   **◇相模湖ダム歴史現場研修**現地講師：田中 さん（高校教員）  　相模湖ダムは日本初の多目的人工湖で、１９４０年から４７年までの間に建設され、神奈川県民にとって不可欠の飲料水用ダム・発電所・観光地になっています。ダム建設のため、のべ360万人の労働者を動員され、この中には朝鮮・日本の労働者のほか、日本軍の捕虜になり強制連行された中国人労働者300人近くも含まれていました。劣悪な労働環境のほか、非人道的な虐待もあったため、83人の労働者が工事現場で亡くなり、この中には28人の中国人労働者も含まれています。殉難者を追悼するため、1979年から毎年７月末に追悼会が開かれています。地元の市民たちが「負の歴史」を掘り起こし、記録、保存、慰霊活動に取り組み、歴史的「事実」を真摯に語り継いだ姿勢を学びたいと思います。  集合：新宿駅西口午前８時30分　／　解散：京王プラザホテル多摩（多摩センター駅）駐車場  　　　工学院大学前　　　　　　　　　 　　午後17時頃（予定）  ＊参加される方には、後日詳細をお知らせします。＊貸し切りバスです |

＊現在申し込み人数が35名です。10名を再募集します。セミナーに参加されない方のご参加も歓迎いたします。入館料・昼食代・案内・お話しなどすべてを含めて￥5,000です。

[お問い合わせはNCC教育部メールnccj-education@cello.ocn.ne.jp](mailto:お問い合わせはNCC教育部メールnccj-education@cello.ocn.ne.jp)

または090-4023-0222（比企敦子）までお願いいたします。

お申し込みは8月15日（土）までお受けいたします。ご参加をお待ちしています。